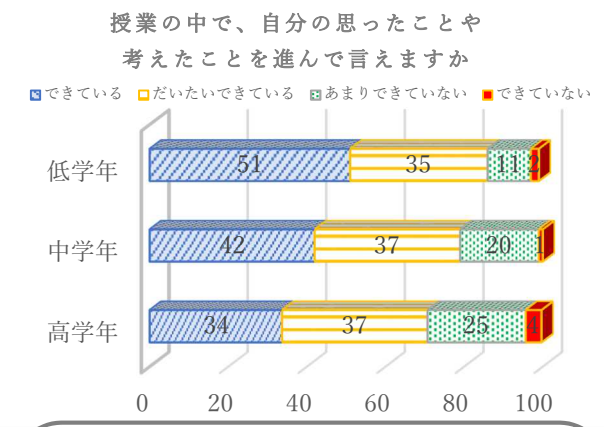
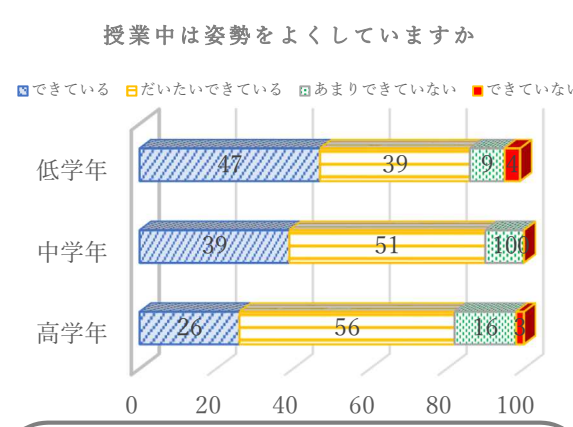
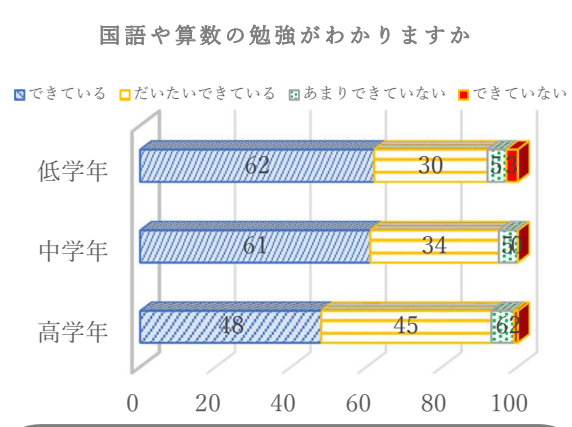
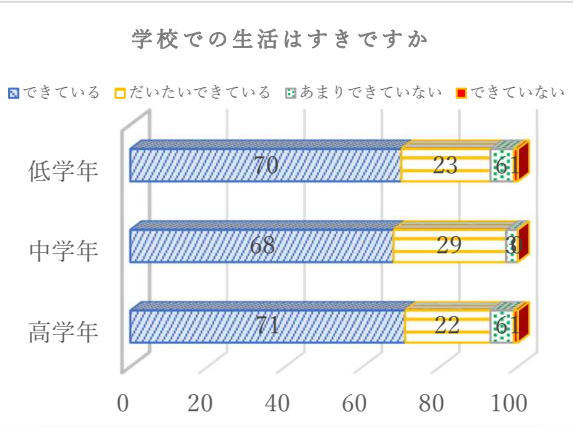
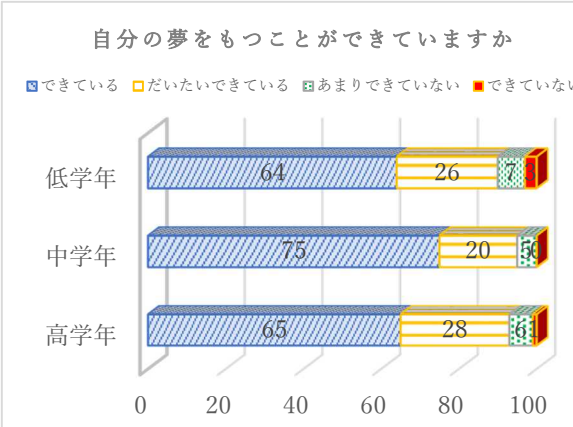




11月下旬に実施しました第2回児童アンケートをもとに、幡羅小学校の児童の姿を分析しました。調査項目は、これまで実施している各種アンケートをもとに設定しています。アンケート項目で肯定的な評価（プラス評価）の全体平均は6月上旬実施の第1回と比較すると0.1%上がり、91.8%でした。10項目中、肯定的な評価が90%以上のものは8項目で、そのうち4項目は95%以上で変わりませんでした。しかし、「授業の中で自分の思ったことや考えたことを進んで言える」「授業中は姿勢をよくしている」の項目は引き続き改善の努力をする必要があることが分かりました。

「夢・笑顔・元気」そして

「あいさつ」があふれる幡羅小学校



肯定的な評価の児童が92%で第1回と変わりませんでした。しかし、内容をみると「できている」と答えた中学年は5%、高学年は6%増え、学習を通して自分の夢を強く意識する児童が増えてきたことが分かります。

全体で95%の児童が学校での生活が好きだと答えています。「学校での生活が好き」は、あらゆる意欲や力につながることから100%にする取組を引き続き進めていきます。

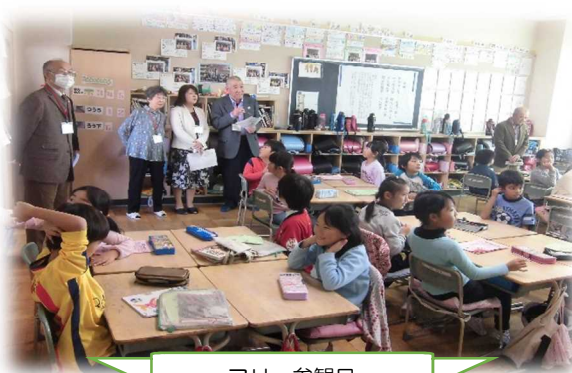
肯定的な評価は1%上がり、93%でした。どの学年も第1回に比べ、1%「わかる」と肯定的に答える児童が増えています。これからも「勉強がわかる」と実感できる授業を目指していきます。

授業中に姿勢をよくしていると肯定的に答える児童は第1回同様、86%です。中学年は「している」の値が2%上がり、90%です。どの学年も授業規律を徹底し、同じ意識で取り組むように指導します。

自分の意見を言えるかどうかについて肯定的に答える児童は78%で変わりません。各項目の中でも苦手意識の高い項目となっており、学び合い活動等を工夫して、自己表現力につなげます。



福祉の心を育む交流事業



フリー参観日



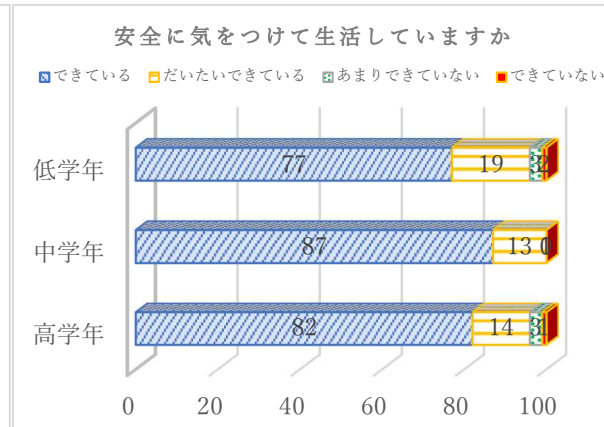
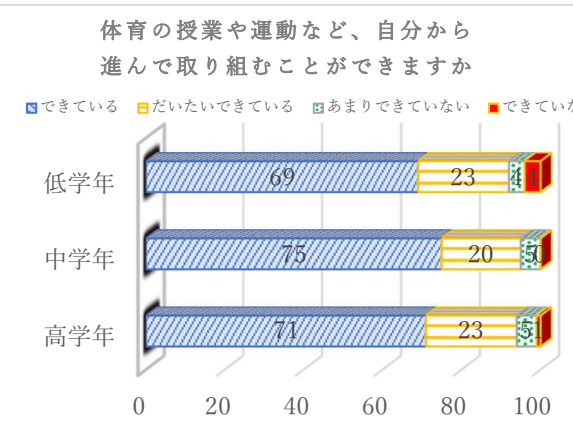
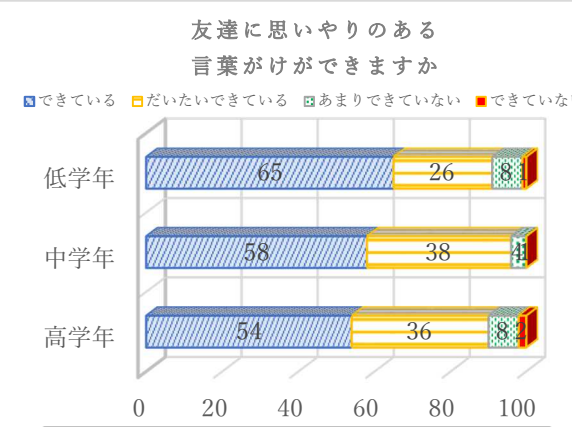
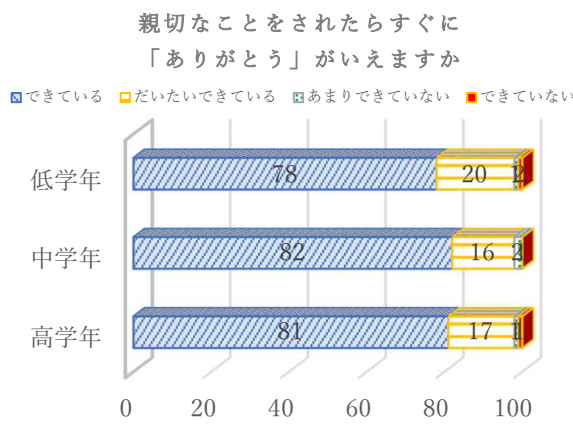
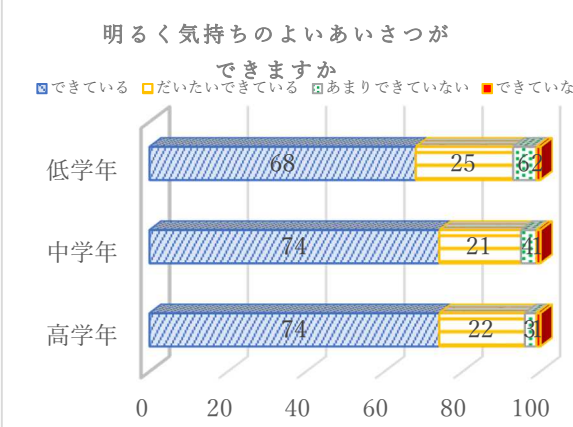
秋風給食



持久走大会



避難訓練



全体の肯定的な評価は95%です。高学年はあいさつができていると感じており、児童会の「あいさつ運動」等を通し、高学年として自ら気持ちのよいあいさつをする習慣を身に付けさせていきます。

肯定的な評価は98%で第1回と比較すると1%伸びあります。道徳等を通し、他者への心遣い、その心遣いに気付く心を養うことを大切にし、これからも感謝の気持ちを表す「はたらっこ」を目指します。

肯定的な評価は92%ですが、年に2回の人権旬間や道徳等はもちろんのこと、日々の学校生活の中で思いやりについて考えさせ、思いやりのあふれる幡羅小学校の校風をつくっていきます。

肯定的な評価は93%で第1回と同じです。肯定的な評価は同じですが、「できている」と感じている児童は、低学年7%、高学年8%増えており、運動会や持久走大会など行事を通して自信を付け、意欲的に臨んでいることがわかります。

肯定的な評価は97%で10項目中でも高い値となっています。中学年においては、99%の高い値となっています。自分の命は自分で守るため、安全に対する意識は何としても100%にするよう取組を進めてまいります。